

Fortuna

[フォルトーナ]
SUMMER 2022
vol.31

特集
水の
おはなし

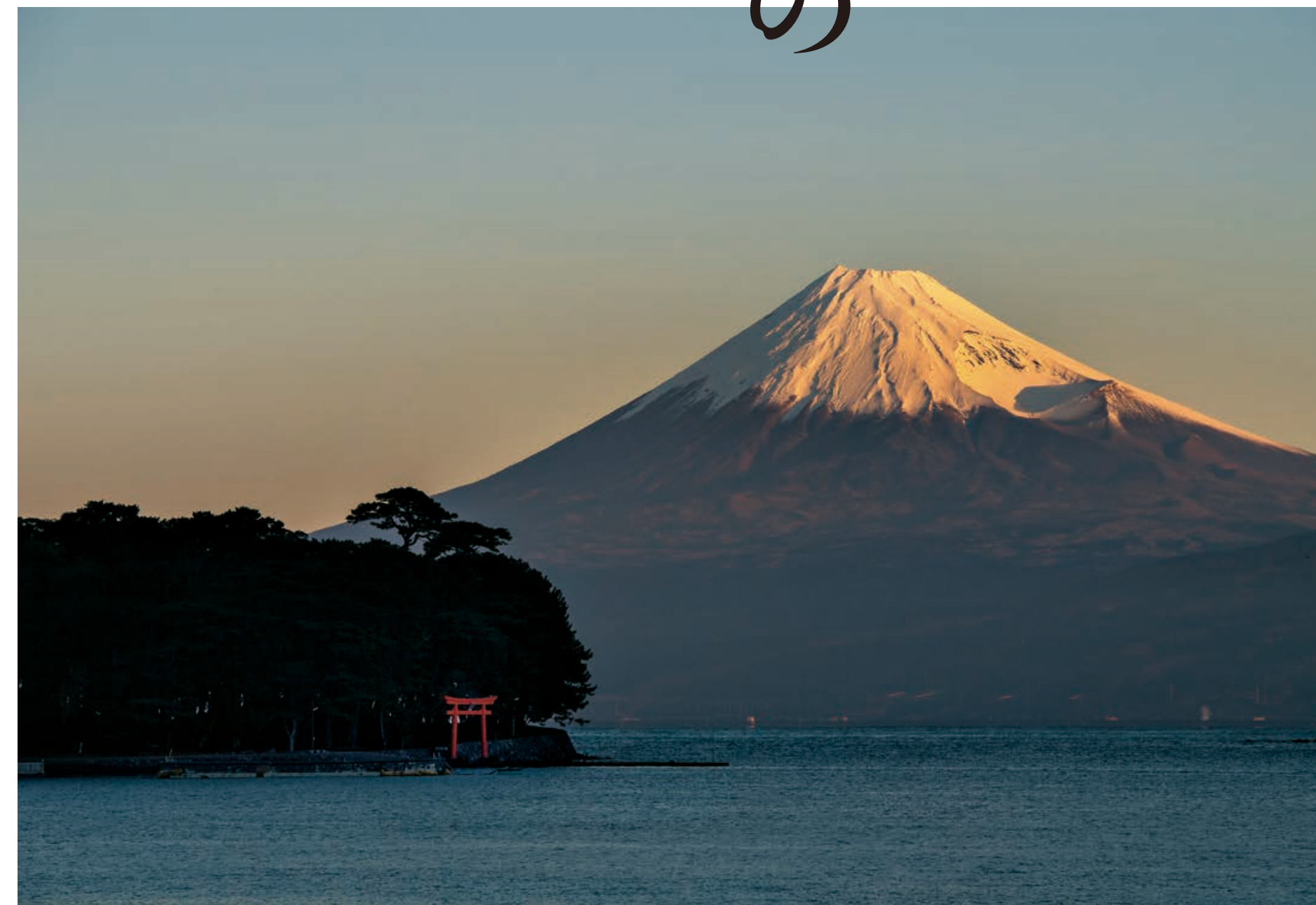
Tales of Water

ハースト婦人画報社が制作する
モルガン・スタンレー証券のプライベートバンクサービス
を受けている方々のみに贈られる会員誌に掲載されました

生命を
輝かせる
水の力

霊山・富士の 奇跡の水

日本の最高峰であり、象徴的風景として
世界に知られている富士山。
天然水の宝庫といわれますが、なかでも、
最深、最古とされる水脈から湧き出る水は、
霊性の高い「神機水」と呼ばれていました。
生命に働きかけ日常を変える力と
名だたる料理人も認めるまろやかさをもつ、
注目の神秘の水について探ります。



裾野が広がる美しい風景を見せる日本一の山、富士山。
唯一無二の高峰として「不二」、不老不死の伝説から「不死」と表現された。
年間の降水量は20億トン以上、1日に約450万トンの地下水が蓄えられ、
湧出する豊富な水は生活用水や工業用水として活用される。
「神機水」は富士山の地下の最深層に水源があるといわれる。

修験者たちが
「神機水」と呼んだ
地下水

古より噴火を繰り返し、溶岩の流出、
堆積によってあの末広がり美しい景観
を形作った富士山は、自然の恐るべき力
や神秘性から、畏敬の念をもって仰ぎ見
られてきた。富士山に浅間大神が祀られ
たのち、噴火が鎮まった12世紀ごろから
は、古来の山岳信仰、密教、道教が習合
した修験道の修行の場ともなり、修験者
たちが富士山のもつ霊力を得んと山頂を
目指すようになった。

そんな神聖な地、富士山の地下水層の
最も深いところから湧き出た水がある。
多様に恵まれた富士山の湧水のなかで
も、人知でははかりしれない神機が感じ
られるその水は、修験者たちから「神機
水」と呼ばれていたという。水は、十数
万年以上前に富士山として崇められた小
御岳層の下、最古とされる水脈にある。
現在は限られた1カ所でのみ取水が叶
い、百数十メートルの深さから汲み上げ
た清冽な水は、現代人の生命にも働きか
けると、静かに注目を集める。

水の神秘的な働きについて言い表すの
は難しく、生物物理学の領域を超えるも
のかもしれない。ただ、天然水のなかで
も超軟水といえるこの水は、口に含めば
まろやかで、それだけでまず笑みがこぼ
れる。喉を通って体に運ばれる間に心身
が目覚め、解きほぐされ、前向きな力を
持つ準備が整う感覚がある。「万物を構成
するとされる四元素で表すなら、細胞は
地、体液は水、熱量は火、そして風であ
る『気』がそこにある」と語る人もいる。

4

SECRET

ドクターに聞く、水によって人はどう変わる？



宗田聡さん
(広尾レディース院長)

医学博士・産業医。母体と胎児の遺伝医学研究で米国ボストンに留学。現在は女性の健康をサポートするクリニックを開設。茨城県立医療大学客員教授、東京慈恵会医科大学非常勤講師。

いま、医学の分野では水の大切さが注目されている。さまざまなミネラルウォーターのメーカーと仕事をする、広尾レディースの宗田聡院長は、「Amazing Waterは酒の仕込み水であることがポイント」と語る。日本酒は米と水、酵母菌という非常にシンプルな素材から醸されるが、酵母菌がよく働く水は、人間にとっても良い働きをするはずだという。「酵母菌が活発に動く水には、多種多様なミネラルが含まれています。人間にとっても、いろいろなミネラルを摂取することが重要。人間には多様な微量元素が必要だからです。また、人は一日に1~2ℓの水を飲むことが推奨されています。汗や尿など体外に出る水分に加え、呼吸や不感蒸泄という私たちが感じることなく気道や皮膚から蒸散する水分がかなりあるためです」。加えて日本人は水を飲むのが苦手という人がいまだに多く、「健康のために水を飲もう」というキャンペーンを厚生労働省が行っているほど。「ミネラルが豊富で、軟水のため飲みやすい水であれば、どんなサプリメントよりも、健康的で手軽。1回200ccをこまめに摂取するのが水の正しい摂り方ですが、まるやかな軟水なら、なんなく飲めるはず。まして、長い時間をかけて岩盤の鉱物が溶けだした水は、いっそうミネラル分が多いため、体にとって良いことづくめではないでしょうか」。脳梗塞や心筋梗塞、熱中症など命に係わる問題にも直結する水。普段から飲む水の大切さを見直したい。



5

SECRET

名だたる料理人が認める勝負の水とは？

「神機水」が「Amazing Water」として発売された直後から、これまでの水との違いを感じる人が現れ始めた。一流の料理人のなかには、自身の体の変化を実感したことから、ここぞというときに料理にも用いるようになった人も。ミシュランの星を持つ富山の名店「鮎し人」の大将、木村泉美さんもその一人だ。「飲み続けると、目覚めがよくなったり、冷え性の僕も体温が少し上がったたり、自然に体が変わる気がして、水の力は偉大だと感じます。満月の日はたとえば畑の土も引力に引っ張られるように、水もエネルギーを出し、我々はそのパワーを受け取る。月の満ち欠けは人が生きるうえでとても大事です。料理なら、ご飯を炊く時に少し加えたり、調味料的

にちょっと使っても大きな違いが出ます」と言い、「まずは体感してほしい」と東京でのイベントや出張料理等で使用している。「普段は毎朝、新月のリバイバルの水を常温で飲むと体が吸収していくのがよくわかる。仕事の前には満月のエネルギーの水を飲んで『行くぞ』という気持ちになる。飲む人によってそれぞれの感じ方や合う飲み方があると思います。するする飲めるのは特別な分子結合だからでしょうか。体が欲しがるのです。飲んだらわかる」と話す。



木村泉美さん（鮎し人大将）
独学で技を磨き独立、自店「鮎し人」を多くの人に指示される星付き店に。いまもっとも注目を集める料理人。鮎し人@富山県富山市新根塚町3-5-7 Tel.076-422-0918 ☎日曜

アメージング ウォーター

Amazing Water

新月と満月の日にのみ取水。赤ちゃんのミルクにも使用できる。微細な分子結合で構成される繊細な味わいを大切にするため、ガラス瓶での販売のみ。1日1本、まずは3カ月を目安に。

☎ <https://www.aw-fuji.com/>



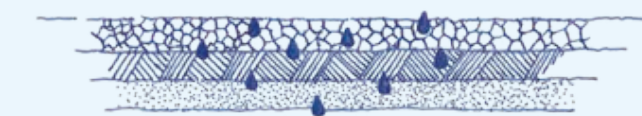
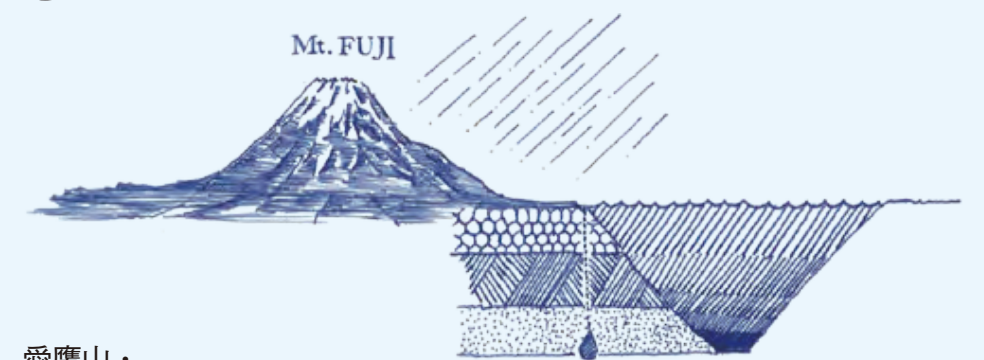
「神機水」の秘密5

1

SECRET

富士山の最深層の水とは？

富士山は数十万年前から現在に至るまで、悠久の時のなかで姿を変えてきた山。愛鷹山・小御岳火山、古富士火山、新富士火山と火山活動が続き、今から1万年ほど前に、新富士火山の活動が始まり、現在私たちが眺めている円錐形の富士山になったという。「神機水」と呼ばれる水の水脈があるのは、数十万年前から約10万年まで火山活動を続け、その頃「富士山」と崇められていた小御岳の地層の下深いところ。富士山に湧く数ある飲料地下水のなかでも、最も深い地下水層からの自然の恵みといわれる。この深層水は現在、沼津市にあり、この水で地酒「白隠正宗」を仕込む蔵元、高嶋酒造にて地下約150mから汲み上げられる。敷地内には取水場となる祠が置かれ、清らかに澄んだ水が満ちている。これよりもやや浅い地点から汲み上げる水は、「富士山の霊水」として地元の人々に開放、自由に汲みに来られるよう酒蔵公園に水道と蛇口が設置されている。



富士の神機の水は、およそ330年前のもの。330年前といえば、町人を中心に文化が開いた元禄のころ。西鶴や芭蕉の時代の水が、歳月により磨かれて、ほかにはないまるやかさを持つ。

330 years later...



2

SECRET

歳月をかけて磨かれた「超」軟水とは？

最深層から汲み上げた富士の水を初めて飲んだ人が、最初に驚くのはそのやわらかな口当たり。まるやかさの理由は硬度にあり、水1000ml中に含まれるカルシウムとマグネシウムの量で表す水の硬度において、日本では0~100mg/Lを、WHOの基準では60mg/L未満を軟水に分類するが、この深層水の硬度はわずか18mg/L。天然の飲料水としても最高レベルの軟水である。たとえば東京の水道水は約60mg/L、口に含んだときのやわらかさだけを考えても違いは大きい。小御岳層の下の層から湧く水は、今から約330年前のもので、通常の富士山水脈としては最古。富士山に降った雨や雪が地面にゆっくりと染み込み、長い歳月をかけ地層によって磨かれ、ここまでの軟水になった。金属イオンの含有量が少ないやわらかな水は、最高の出汁が引けるとプロの料理人からも注目されるようになった。繊細な表現ができ、しかも引く時間が半分になったと、星付きの名料理人たちをうならせている。

富士山の神機水は、JR東海道本線原駅の近く、沼津の地酒を造る蔵元の地下150mから汲み起こされる。透明度が高く清らかな水は地酒の仕込みにも使われる。

3

SECRET

月の満ち欠けに合わせてボトリングする意味は？

まるやかな富士の水を、地元以外にも持ち運んで飲めるように、また毎日の習慣にできるようにと、限られた数ながら商品化したものが、2021年に販売が始まった「Amazing Water」だ。取水地の協力を得て生まれたこの水は、新月と満月のタイミングに合わせてボトリングし、出荷するというのが大きな特徴。そこには、月の引力で満潮や干潮が起こるように月と水とは深く関わっており、体の60~70%は水分である人間にも月が影響を及ぼすのではないかと考える。新月から満月へ、満ちる時期の水は、パワーも最大限に満ち活力を象徴するという。新月の水はそれまでのリズムをリセット、再び活動を始めようとする蘇生を示す。水であるからこそ、人と自然の周期に寄り添うことを大切に生産されているとか。品質管理のため、水は自然を損なわない技術で磨きあげられ、飲む人それぞれが新月、満月の味わいやもたらす効果の違いを敏感に感じ取っている。

新月から満月へ、満月から新月へ、自然の周期と人間のバイオリズムが重なり合うように、日を選んで採水される。月の変化への意識も高まっていく。

